

どじぶつ園のじゅうい

第一次指導（一時間）

○ 本時の目標

- 動物園の獣医である私、うえだみやの動物園での一日の仕事を通して、獣医の楽しさを知る。

〈区画〉八区画（段落ごとに）

二 とく（読後感の話し合い）

〈題目〉

- 獣医さんのお仕事は何ですか。動物のお医者さんです。
- この話を書いた上田さんは、どこの獣医さんですか。動物園の獣医さんです。
- ほかの獣医さんを知っていますか。ペットの獣医さん。（犬猫病院）家畜の獣医さん。（牛・馬……）
- 動物園の獣医さんの私の仕事は、なんですか。（わたしのしごとと板書）動物園の動物が、元気に暮らせるようにすること。（具体的なことも受け止めて、元気に暮らせると整理する）
- 動物が元気に暮らせるようにと、目も耳も鼻も、体全体を使って仕事をしています。でも、毎日いろいろなことが起こります。

この日も、先ずどんな仕事から始めましたか。

動物を見回る仕事です。

- 一日の終わりに必ずする大切な仕事もやりました。それは、何ですか。

日記を書くことです。

- （日記と板書）日記に書いておくと、よいことがあるのですね。

〈手引き〉

- 今日の日記に書いたことを、探して書いてもらいます。4、5、6は、動物にどんなことをしてあげたかを書いてください。
- 2、3は、見回りをしながら動物に知ってもらいたいことを書いてください。

三 よむ（黙読）

全員で考えながら、板書する。

四 かく（視写）

- 1 わたしのしごと
 - 2 かお
 - 3 こえ
 - 4 赤ちゃん
 - 5 くすり
 - 6 くすり
 - 7 日記
 - 8 ○
- 六 とく（板書を活用した話し合い）
〈事実・区分〉板書の言葉を関連付ける活動
- 5と6に「くすり」があります。命を救ったのは、どちらの薬ですか。
 - 6番です。
 - 薬を使って何を吐き出させたのですか。ボールペンです。

○ よかったですね。ペンギンは、細長いボールペンを魚と間違えてしまったのです。

動物が間違えて食べてしまうものを捨てたりしたら命にかかわるのですよね。

- 5番の薬の話は、お猿さんの話ですが、まるで人間の誰の話と似ていますか。

赤ちゃんや話のよく分からない小さい子供に似ています。

- そうですね。あなたたちも似ていませんか。嫌いなものを食べたがらないので、お母さんは、いろいろ苦労しているのですからね。（ここは、ユーモアの程度で……）

- 4の赤ちゃんは、どこにいますか。
- 猪のお母さんのお腹の中です。

- この話は、動物園にとってもうれしい話です。でも、この診察も、大変なんです。何が、大変でしたか。

お腹に触ることです。

- 飼育員さんが餌を食べさせている間に機械をお腹に当てるのですからね。

- 赤ちゃんが生まれる時にも獣医さんは、お仕事があります。そういう時に、猪に上田さんと分かるようにしているお仕事は何ですか。

見回りです。

- 見回りをしながら、顔を声を覚えてもらっています。これ、大事なお仕事ですから、いつやりますか。

朝です。

- 毎日の大事なお仕事です。命にかかわる治療をしたいのに動物が近寄らせてくれ

なければ、治療ができません。だから、仲良しになるために毎日顔を見せるのです。

○ もう一つ、毎日しなくてはならない大事な仕事があります。何ですか。

日記を書くことです。

○ 猪の赤ちゃんがいつ生まれるか、今日のことを書いてみると、だんだんはつきりするようになります。大事なことです。お猿さんに薬をやる方法が見つけれられたのも参考になります。ペンギンのことも書いておかななくてはなりません。

○ 日記に書いたのは、何番から何番までですか。

4番から6番です。

○ 毎日、する仕事は、何番と何番ですか。

2、3番と7番です。

○ 8番は、2番から7番までをまとめたところですか。この日も忙しかったですね。

1番は、この話の始まりです。

〈山〉

○ 私の今日の仕事、4、5、6番のどこを詳しく読んでみたいですか。

・猪の赤ちゃんがお腹にいる話

・苦い薬を飲む話

・ペンギンの命を助けた話

○ 今日お家に帰って、読み直して、どこを勉強したいか考えてみてください。次に、みなさんの希望のところを聞いて勉強します。

○ この話を読んで、獣医さんって大変だけれど面白そうですね。私もすっかり読んできます。みなさんも読んでみてくださいね。

第二次指導第一時（二時間位扱えます）

二とく

〈おさらい〉叶田先生の一次を受けて、私の案を合せる。

○ （区分は叶田さんの七つ）上田さんがお医者さんの仕事をしました。薬を飲ませたのは、どんな動物ですか。

にほんざる。（区画 4に 板書）

ペンギン。（区画 5に 板書）

○ 命が助かったのは、どっちですか。

ペンギンです。

○ すぐに、薬で吐かせたのがよかったのです。それで、ペンギンは元気になりました。上田さんも喜んででしょうね。

○ お猿さんの方は、苦い薬を嫌がって飲みません。まるで、人間の誰に似ていますか。

赤ちゃんです。

○ 赤ちゃんには、話を通じませんからね。大事な薬でも、吐き出したりしてしまいます。みなさんもそういうことは、ありませんか。食べ物で母さんを悩ませたりしていませんよね。

○ 赤ちゃんのことを書いてあるのは、どの動物ですか。

いのしし。（区画 3に 板書）

○ 猪です。動物園にとっても嬉しい話ですね。赤ちゃんが生まれる準備も仕事になってきます。日記に付けておかないといけない話です。

○ 日記のことが書いてあるのは、何番でしたか。

6番です。（板書）

○ 日記は、毎日つけますが、獣医の上田さんが毎日している仕事に他にあります。それは何ですか。

見回ります。

○ 見回りをしながら動物の元気な時の様子をしつかり見えています。それとも一つ大事なことがあります。動物に知ってもらいたいことです。何でしょうか。

顔と声を覚えてもらうことです。

○ （かお こえ と2の下に板書）顔と声を覚えてもらって、動物と仲良しになるのも大事なお仕事です。

○ 2と6の仕事は、毎日の仕事です。3、4、5は、同じ日の日記に書かれた仕事でした。

〈承接〉どこをやるかによってかわります。

○ あなた方も親に見られると困ることは隠すでしょう。動物園の動物たちも、隠すことがあります。どんなことを隠しますか。痛いところや辛いところですか。

○ よく知らない人には、隠そうとします。だから、上田さんは、毎日見回りするのですね。

○ 今日、見回りをする動物の檻の中での治療でなく、動物園の中の病院での治療の話のところを勉強します。何番ですか。

4番です。

○ 4番を開けてください。飼育員さんの困っていることは何ですか。

薬を飲んでくれないことです。

〈手引き〉

○ その苦い薬を飲ませる知恵比べのこと

が書いてあるところを書いて勉強します。最初の知恵は、餌に混ぜました。次は、菓を粉にしてバナナに挟んで食べさせました。(対話しながら、「じょうさい えき こな」を板書する) バナナに挟んで食べさせるところから書いてください。「たてに半分に切った。すると、くすりの…のみこんでくれました。」までを書いてください。

四 かく

こなに
たてに半分
バナナの間
わたし
すると、
くすりの
だけを
たべて
こなを
まぜたら、
やつと、
いっしょ
くれました。

六 とく

〈語義・区分〉

- 難しい言葉はありませんか。
(すると、よけて やつと)
- バナナを試したところと蜂蜜を使ったところを二つに分けます。どこですか。
たべました。のところですか。
- バナナの方も、蜂蜜の方も上田さんがやったことと、サルがやったことに分けます。

どこですか。

- 最初は、けがを治す薬の錠剤を飲ませようとしたが、飲んでくれませんでした。どうしてですか。
苦い薬だからです。

- 苦い薬は飲まないで、餌に混ぜて食べさせましたが、薬だけ残りました。そこで、上田さんと飼育員さんは、知恵を働かせました。(ここまでは、承接とダブリますので省略してよいかもしれません。同じ話でも面白いところですから、前とちよつと視点を変えて扱おうと食い付きがいいかもいれませんが) 錠剤をどうしましたか。
砕いて粉にしました。

- つぶの錠剤を粉にしました。粉にすると見つけられないから大丈夫だと、上田さんは考えました。もう一つ、その粉を見つけれないような知恵を使いました。それは何ですか。
バナナを半分
みましました。

- お猿さんが大好きなバナナに隠して薬を食べさせようとした。この知恵比べは、どちらが勝ちましたか。
お猿さんです。

- お猿さんが、勝つたのが、どこでわかりますか。
薬のところだけよけて食べたからです。

- 隠したのを見つけれませんでした。目で見えないようにすればよいだろうという知恵は、失敗しました。失敗したという気持ち

が出ています。言葉が書いてあります。どの言葉にそれが、出ていますか。
「すると」です。

- 「すると」は、予想と違ったことに気づいたときに出てくる言葉です。

- そこで、次は、何を使いましたか。
蜂蜜です。

- 蜂蜜を使ったら、上田さんと飼育員さんが、お猿さんに薬を飲ませることに成功しました。どうしてでしょうか。
蜂蜜の甘い味で薬の苦い味が気にならなくなつたからです。

- 目では、誤魔化せなかつたのに気づいて、味で誤魔化すことにしたら、お猿さんに勝つたというお話です。この知恵比べは、大変でした。そのことが分かる言葉は、何ですか。
やつとです。

- やつと、お猿さんと知恵比べで勝つた。このことは、次にも役に立ちます。ですから、夕方になつたら何をしますか。
日記に付けます。

- 日記には、「お猿さんに苦い薬を飲ませるときには、蜂蜜に混ぜて飲ませると成功しました。」と書いたでしょう。

- 動物園の獣医さんも大変だけれども、面白そうですね。他の所も読んで考えてみましょう。面白いところを発見できますよ。

「いのしい」の所ならば、飼育員さんの観察眼と上田さんの診察で動物園の喜びを味わう話として読む。「ペンギン」の所ならば、緊急事態への対応とペンギンの習性を読み取る。以上